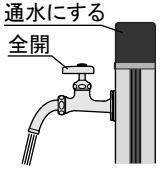
洗管と作動確認

■ 洗管

施工後、水栓金具(蛇口等)を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■ 作動確認

洗管後、水抜きハンドルを操作して水が抜ける(排水する)ことを確認して下さい。



操作方法

❗ 水抜き操作をする前に、必ずホースを水栓金具(蛇口等)からはずす。

※操作方法については、製品に貼られているラベルにも書かれているのでご覧下さい。

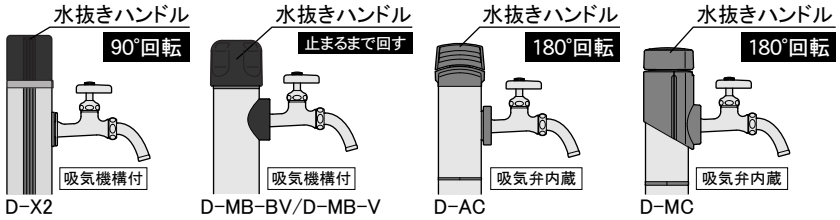
■水抜き操作(凍結防止)

①水抜きハンドルを右回りに止まるまで回します。
②水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)
③水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

■通水操作

水抜きハンドルを左回りに止まるまで回します。(通水状態になります)
※水栓金具(蛇口等)を操作してお使い下さい。

⚠注意
通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります。



お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをお知らせ下さい。

・製品名
・詳しい状況、内容
・その他、お気づきになられたこと
・施工日
・氏名、住所、電話番号

株式會社 竹村製作所
ネットワーク／札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス http://www.futou.co.jp

お客様ご相談窓口
フリーダイヤル 0120-107210
月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

0192BD03-8

不凍水栓柱

D-X2/D-AC/D-MC/D-MB
D-A/D-AR/D-ARF/D-ASR

工事店様用 施工説明書

(社)日本水道協会品質認証センター認証登録品

■この度は、不凍水栓柱をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。
■本製品は、水抜きハンドルを操作することにより、器具内の水を抜いて凍結を防止する機能を持った水栓柱です。
■取扱説明書に貴店名を明記の上、お客様にお渡し下さい。

安全上のご注意

ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について

表　示	表示の意味すること
⚠警告	人が死亡したり、重傷を負う可能性がある内容です。
⚠注意	人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容です。
⃠	絶対にしないで下さい。(行為の禁止)
❗	必ずして下さい。(行為の強制・指示)

⚠注意

⃠ 禁 止

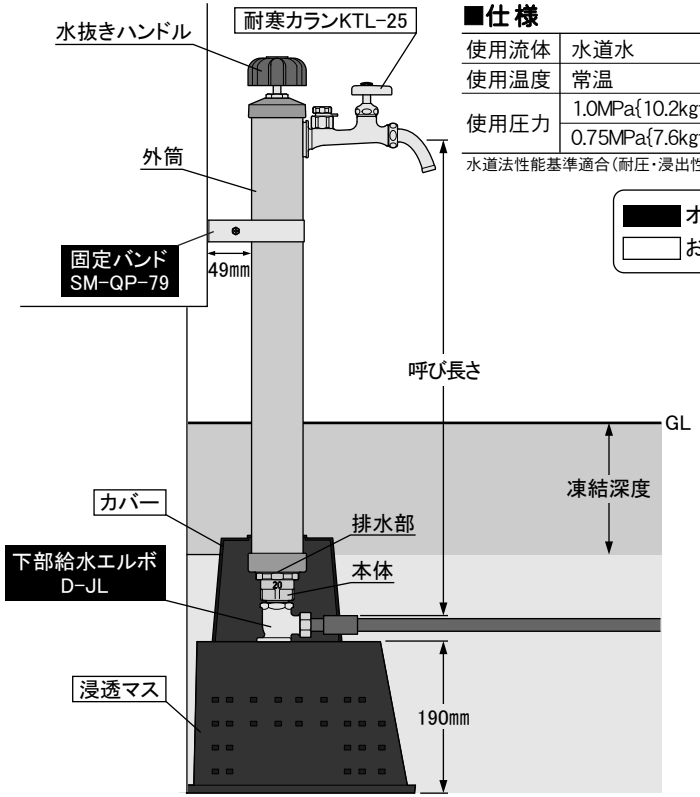
・器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
・ねじ部は素手で触れないで下さい。けがをする恐れがあります。
・保護キャップは配管直前まで外さないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
・水栓金具(蛇口等)や外筒をつかんで無理に回さないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・竣工検査時、器具の2次側から加圧しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・耐圧試験後、水抜きハンドルで圧抜きをしないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・寒冷地仕様以外の水栓は使用しないで下さい。寒冷地仕様以外の水栓は、開栓しても空気が入らず水が抜けないため、凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。

❗ 強 制

・本体以外に工具をかけないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・管軸に対して操作部が垂直に上を向くように施工して下さい。作動不良の原因になります。
・排水部が凍結深度以下になるように設置して下さい。埋設が浅いと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・排水部周辺は、浸透マス・排水ブロックまたは、砂利・砕石等を用いて、水はけをよくして下さい。水はけが悪いと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・水抜きハンドルが確実に回せるような空間を確保して下さい。水抜きハンドルが確実に回せないと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等が発生する恐れがあります。

TAKEMURA

D-A施工例と各部名称



■仕 様

使用流体	水道水
使用温度	常温
使用圧力	1.0MPa{10.2kgf/㎠}以下
	0.75MPa{7.6kgf/㎠}以下 ※D-X2

水道法性能基準適合(耐圧・浸出性能)

■ オプション
□ おすすめ周辺機器

施工方法

1. 配管前に…

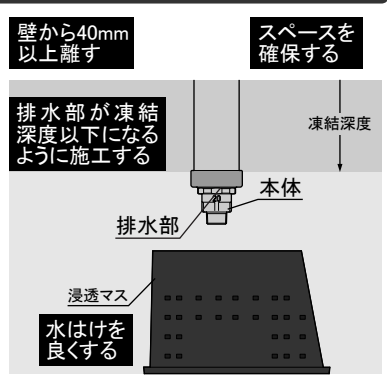
①メンテナンスのために、上部に立上り管一式(内部構造)が抜き出せるような場所を選んで下さい。

②排水部が必ず凍結深度以下になるように施工して下さい。

③水を抜いた時、排水が確実に浸透するような施工をおこなって下さい。

④水抜きハンドルと壁を40mm以上離して施工して下さい。

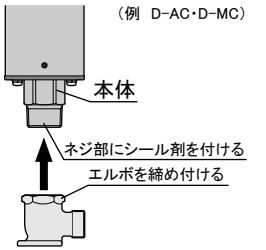
❗ 排水部をふさがない。
❗ 浸透マス・排水ブロック等を使用する。



2. エルボの接続

エルボの接続は、吐水口の向きと配管方向を確認して、本体に工具をかけてしっかり締め付けて下さい。

※シール剤が本体内部に入らないように注意して下さい。
※鋼管継手と本体接続には、管端防食コアは使わないで下さい。



🚫 本体以外は工具をかけない。

■オプション

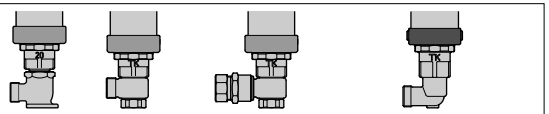
D-A/D-AC/D-MC/D-X2には、下部給水エルボまたはポリ給水エルボをお使いになると簡単・確実な施工ができます。

下部給水エルボD-JL　ポリ給水エルボP-JY

ストレート型本体

(本体例:D-X2)
D-A/D-AC/D-MC/D-X2
テーパおねじ

エルボ型本体

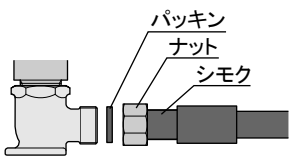


D-ASR ユニオン式
D-AR ユニオン式
D-ARF ポリエチレン管継手
D-MB-BV/D-MB-V ユニオン式

3. 配管との接続

①配管種類に合わせて、シモク・ナット、継手等を配管に取り付けます。

②ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、エルボと接続します。



🚫 竣工検査時、器具の2次側から加圧しない。

4. 固定バンド・固定板・水栓金具(蛇口等)の取り付け

❗ 埋設が浅い場合やポリエチレン管を使用する場合は、必ず固定バンド・固定板を取り付ける。

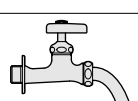
①壁面がある場合には、外筒が動かないように固定バンド(オプション)を、また壁面がない場合には、固定板(オプション)を取り付けるとより安定します。

②水栓金具(蛇口等)にシール剤を用いて取り付けます。

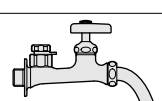
❗ 水栓金具(蛇口等)は、寒冷地仕様(固定コマ)を使用する。
🚫 設置後、水栓金具(蛇口等)の方向変更はしない。

■オプション

水栓金具(蛇口等)は、耐寒カランをお使いになると、より確実な水抜きができます。
耐寒カランは、腹部が平らになっているため、水栓の中に水が残らず水栓金具内が凍結する心配がありません。



耐寒カラン KTL-10



吸気弁付耐寒カラン KTL-25